

自民党の
池田^{衆院}議員が
文科省に圧力

異常な教育介入は 許せません!

前文科省事務次官の前川氏が名古屋市立中学校で行った授業について文科省が執拗に質問メールを送りつけ、この背景に自民党文科部会の幹部が直接関わっていたことが大問題となっています。この問題について、ご一緒に考えてみましょう。

日本共産党

教育は子どもものの

学校は何よりも子どもたちの成長・発達のためにあるものです。教育は子どもも教員も自由な雰囲気のもとにあってこそ花開きます。とくに授業は自主性と創造性が保障されてこそ、子どもが感動する生き生きとしたものになります。今回の異常な教育への介入は、この自由な教育が脅かされるもので、断じて許されません。

憲法・教基法に反する

戦前は「教育勅語」のもと、天皇のために命を捨てるのが最高の道徳だとされ、国が教育を厳しく支配し、教育内容に干渉しました。その結果、国民を極端な国家主義と軍国主義に導いて戦争に駆り立てました。戦後の日本国憲法のもとでは、戦前の教育への反省に立ち、「教育は不当な支配に服することなく」行われるべきだと教育基本法に明記されました。今回の行為は国家権力の不当な介入そのものです。

戦前回帰への危険な動き

文科省へ圧力をかけたのは自民党文科部会長である赤池議員と、同会長代理の池田議員。ともに改憲右翼団体・日本会議議連のメンバーです。池田氏は日本青年会議所の会頭時代に侵略戦争を正当化するDVDアニメを製作。文科省が2007年にこのDVDを研究事業として採択した際の有識者会議メンバーの1人でした。安倍首相は昨年の総選挙で池田氏の応援に入り、「まともな教育にしている」と意気投合したと演説しました。侵略戦争を美化し、教育に介入する議員は断じて許せません。

野党6党で 徹底究明に全力



野党6党は「教育現場不当介入問題 野党合同ヒアリング」を繰り返し開くなど真相究明に全力をあげています。文科省は自民党の赤池誠章参院議員と池田佳隆衆院議員が複数回調査を求めていたことや、池田議員が調査メールを事前にみて、2か所の修正コメントをし、そのコメントも参考にして修正したことを認めました。

自民党と文科省による教育への
不当な介入を許すな!

緊急シンポジウム

- 4月7日(土)午後2時
- 市総合社会福祉会館 大会議室
北区役所7F (八王子中学校となり)

パネリスト
愛知教育大学名誉教授
折出健二さん
武田良介参院議員
学校現場からの発言



折出健二さん
愛知教育大学名誉教授



武田良介さん
日本共産党参院議員

国政事務所ニュース

2018年
3月号外

発行：日本共産党国会議員団愛知事務所
〒460-0007 名古屋市中区新栄3-12-25 電話 052-261-3461
日本共産党の見解を紹介します。ご意見、ご感想をお寄せ下さい